

三原市立宮浦中学校第3学年 英語科学習指導案

単元名 : Lesson4 The Story of Sadako

指導者 : 三原市立宮浦中学校 住吉谷 大輔

- 1 日 時 : 平成28年12月1日(木) 第5校時
2 場 所 : 3年2組教室
3 学年・学級 : 第3学年2組(男子14名 女子17名 計31名)
4 単元名 : Lesson 4 The Story of Sadako

(1) 単元観

本単元は、登場人物の中学生が修学旅行で訪れた広島で感じたことや、原爆が原因で亡くなった佐々木禎子さんの生い立ちを題材に、平和の大切さについて考える内容になっている。取り上げられている広島は地元であり、多くの生徒は小学校の遠足や社会見学で一度は平和記念公園に足を運んでいることから、生徒にとってイメージしやすい題材と言える。また、佐々木禎子さんは12歳の秋に白血病で亡くなったが、自分たちとさほど年齢の変わらない少女が戦争の被害者として亡くなったエピソードは、「平和」や「生命」について深く考えさせられるテーマである。

言語材料としては、SVOCの文型とIt is ~ (for A) to ...の構文(以下It ~ to 構文と表記する)が新出となっている。SVOCの文型は、英語の文型の中でも特殊なものの一つであるが、この文型をとる動詞はそれほど多くなく、この単元ではcall, makeの2つの動詞を用いた例文が取り上げられている。It ~ to 構文は「…することは～だ」という意味を表すが、この表現は日常生活で頻繁に使われている。つまり、この構文を身に付ければ、生徒にとって自己表現の幅が大きく広がることが期待される。

また、本単元では最終的なタスクとして、ある程度のまとまりとストーリー性のある英文を要約する活動を行う。これは指導要領の言語活動の取扱いの「ウ 読むこと」のうち、(ウ)物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取ること、に合致している。

(2) 本単元において育成しようとする資質・能力とのかかわり

本校で育成しようとする資質・能力は以下の5点である。

【知識】【スキル】	①課題解決能力	②表現力		
【意欲・態度】	③主体性	④協調性	【価値観・倫理観】	⑤公共心

この中から、本単元において育成しようとする資質・能力とのかかわりについて、次の2点に重点を置くものとする。

【知識】【スキル】

①課題解決能力・・・まとまりのある英文の内容を十分に理解した上で、キーワードや時系列を表す表現に注目しながら要約文を書くことができる。

【意欲・態度】

④協調性・・・ペアワークやグループワークの中で、お互いの特性や習熟度などを配慮しながら、力を合わせて課題を解決しようとする態度を身に付けている。

(3) 生徒観(調査結果からみる課題)

平成27年度6月に行われた「基礎・基本」定着状況調査の教科学習への意識調査において、英語の勉強が好きと答えた生徒は72.7%、英語の授業がよく分かると答えた生徒は87.6%であった。この結果から、英語の学習に対するモチベーションは比較的高いと言える。また、授業中に行うペア・グループ活動においても、お互いの習熟度などを配慮しながらヒントを出し合うなど、共感的な学習風土ができています。

一方で、本校で育成しようとする資質・能力に関わる調査項目では課題も見られる。

調査項目	あてはまる	あてはまらない
授業では、情報を、比べたり(比較)、仲間分けしたり(分類)、関係を見付けたり(関係付け)して、何が分かるのかを考えています。	59.5%	40.5%

上の表にあるように、課題解決に向けて情報を整理したり、分析したりすることに課題が見られる。いろいろな授業の中で、情報の比較・分類などを行う場面が多くあるが、生徒自身がそれらを意識して行っていないことも原因の1つと考えられる。情報の整理・分析を行う際に、効果的な技法を学び、それを実際に使ってみる活動が必要である。

(4) 指導観(指導改善のポイント)

本校の研究テーマは、「『コンピテンシーの育成をめざした学びの創造』～コミュニケーションを活用した授業の工夫を通して～」である。このテーマにあるように、コミュニケーションを通して生徒のコンピテンシーを育成することが目標であるが、本単元ではコミュニケーションの一形態として、要約文を書く活動をその中核に置く。その中で、以下のような指導の手立てを取り入れる。

①課題解決能力

本単元でまとめの活動として設定した課題は、物語文の要約文を書く活動である。もとの文章の要点を押さえ、全体としてまとまりのある要約文に仕上げるために、次のようなスモールステップを設定した。

- a) 登場人物やストーリー展開を細かく読み取る。
- b) 英文全体を意味段落に分ける。
- c) 各段落の中心文を見つける。
- d) 中心文を自分の言葉を加えてつなぎ、まとまりのある要約文を書く。

要約文を書くという課題を解決するために、感覚的に英文を書くのではなく、具体的な技法を学びながら課題に取り組ませたい。その際、ただ本文に出てくる英文を引用するだけでなく、時系列やストーリー展開が読み手に伝わりやすいように、つなぎ言葉を用いながら英作文することを意識させたい。

②協調性

これは、本単元だけに関わらず1年間の英語の授業を通して行っていくことであるが、他人とコミュニケーションを図ろうとするとき、互いが相手を尊重し、理解しようとする努力が不可欠である。英語学習においては、そこに母語だけでなく、第二言語としての英語の能力が大きく影響する。そのため、ペア・グループ活動を行う際に、互いの特性だけでなく、英語の習熟度も配慮しながら、協力して課題を解決しようとする姿勢を普段の授業から身につけさせたい。また、グループ活動においては、まず自分自身で考え、自分なりの答えを持った上で意見の交流を行い、他の人の意見から自分の考え方を広げながら目標を達成することを目指す。

5 単元の目標と評価規準

単元の目標

- 広島原爆にまつわる情報を知り、平和について考えることができる【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】
- 物語の要約文を書くことができる。【外国語表現の能力】
- 佐々木禎子さんについての物語文を読むことができる。【外国語理解の能力】
- SVOCの文型やIt～to構文を理解し、使うことができる。【言語や文化についての知識・理解】

単元の評価規準

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
①原爆にまつわる情報について、関心を持って聞いたり、読んだりしている。	①読み取ったことをもとに、情報を整理し、時系列や物語の展開に沿って要約文を書くことができる。	①既習の知識を活用して、短い英語発話の内容を正しく聞き取ることができる。 ②語句や文法事項の知識を活用して、まとまりのある英文の内容を正しく読み取ることができる。	①SVOCの文型の語順や語法について、正しい知識を身に付けている。 ②It～(for A) to…の構文の語順や語法について、正しい知識を身に付けている。

6 指導と評価の計画

全13時間 (本時は10/13)

次	学習内容 (時数)	主な学習内容				資質・能力の評価 (評価方法)	
		関	表	理	知		
1	佐々木禎子さんや原爆についてのエピソードを知る。(1) 課題の設定	◎			○	・戦争や佐々木禎子さんについて、関心を持って聞いている。 ・既習の知識を活用して、短い英語発話の内容を正しく聞き取ることができる。	④協調性 (行動観察)
2	SVOCの文型を理解し、活用する。(3) 整理・分析				◎	・SVOCの文型の語順や語法について、正しい知識を身に付けている。	
3	It ~ (for A) to ...の構文を理解し、活用する。(2) 整理・分析				◎	・It ~ (for A) to ...の構文の語順や語法について、正しい知識を身に付けている。	
4	丘先生と生徒との会話や、佐々木禎子さんのストーリーを読み、内容を理解する。(3) 情報の収集				◎	・語句や文法事項の知識を活用して、まとまりのある英文の内容を正しく読み取ることができる。	
5	佐々木禎子さんの物語をもとに、要約文を書く。(3) 本時 1/3 整理・分析 まとめ・創造・表現			◎		・読み取ったことをもとに、情報を整理し、時系列や物語の展開に沿って要約文を書くことができる。	①課題解決能力 (ワークシート)
6	本単元で学習した内容をまとめる。(1) 振り返り				◎	・本単元で学習した文法の語順や語法についての正しい知識を身に付けている。	

7 本時の展開

(1) 本時の目標

禎子さんの物語を段落に分け、中心文を見つけることができる。

(2) 観点別評価規準

◎読み取ったことをもとに、情報を整理し、時系列や物語の展開に沿って要約文を書くことができる。

【外国語表現の能力】

評価方法：ワークシート

(3) 準備物

ワークシート (Lesson4 New Words List, 要約文を書こう), 本文シート (グループ活動用)

(4) 学習の展開

	学習活動	指導上の留意事項 (■) (努力を要する生徒への指導の手立て◆)	○育成しようとする 資質・能力 ●教科の評価
導入	<p>○あいさつ</p> <p>○Lesson4 の新出語彙を確認する。</p> <p>○本時の目標の確認</p> <p style="text-align: center;">課題の設定</p>	<p>■できるだけテンポ良く確認していく。</p>	
	<p>【本時の目標】禎子さんの物語を段落に分け、中心文を見つけることができる。</p>		
展開	<p>○物語文 (The Story of Sadako) のあらすじを確認する。</p> <p>○本文を意味段落に分ける。</p> <p style="text-align: center;">整理・分析</p> <p>○各段落の中心文を見つける。</p> <p>【個人思考】(5分)</p> <p style="text-align: center;">整理・分析</p> <p>【グループ協議】(7分)</p>	<p>■ストーリーの要所だけを日本語で確認する。</p> <p>■時系列に着目させる。必要に応じて、読み取り用ワークシートの年表を参考にさせる。</p> <p>■各段落の中の主なできごとを含む英文をそのまま抜き出させる(2文以上も可とする)。</p> <p>◆中心文を見つけることが難しい生徒は、各段落の最初の文が要点を表していることが多いことをアドバイスする。</p> <p>■グループ協議で正しい答えを導こうとするのではなく、他の人の考えを知ることがを重視する。他の人の意見を聞いて、自分の考えを修正させてもよい。</p>	<p>●物語の要点をつかみ、中心文を見つけることができる。(ワークシート)</p>
まとめ	<p>○次時の見通しを持つ。</p>	<p>■次時では、見つけた中心文をもとに、まとまりのある要約文を書くことを伝える。</p>	

(5) 育成したい資質・能力の評価基準

資質・能力	評価基準
① 課題解決能力	<p>A 物語文の要点をつかみ、自分の言葉を加えながら、まとまりのある要約文を書くことができる。</p> <p>B 物語文の要点をつかみ、まとまりのある要約文を書くことができる。</p> <p>C 物語文の要点をつかみ、要約文を書くことができる。</p>

(6) 板書計画

本時の目標 禎子さんの物語を段落に分け、中心文を見つけることができる。

＜要約文を書く手順＞

- ①登場人物やストーリー展開を細かく読み取る。
- ②英文全体を意味段落に分ける。
- ③各段落の中心文を見つける。
- ④中心文を自分の言葉を加えてつなぎ、
まとまりのある要約文を書く。

The Story of Sadako
の本文（拡大版）